第６学年１組　道徳科学習指導案

１　主題名　働く喜び〔内容項目C－（１４）：勤労、公共の精神〕

　　＜教材名　「働く」って、どういうこと？＞

出典：「きみがいちばんひかるとき道徳６年」光村図書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 家庭や地域と連携した教科学習計画 | | |
| 月 | 教科 | 内　容 |
| ６  ７  ９  10  11  １  ３ | 総合  道徳  総合  道徳  国語  総合  道徳  総合  理科  家庭科  理科  道徳  道徳 | 地域の人の話を聞き、何のためにしたのかを考える①  海のゆりかご―アマモの再生  D（20）自然愛護  地域の人の話を聞き、何のためにしたのかを考える②  「働く」ってどういうこと  C（14）勤労、公共の精神  町の幸福論  地域の人の話を聞き、何のためにしたのかを考える③  ようこそ、菅島へ！  C（17）伝統と文化の尊重  学習発表会  土地のつくりと変化  共に生きる地域での生活  生物と自然環境  「ありがとう」の気持ちを伝える  B（8）感謝  一さいから百さいの夢  D（22）よりよく生きる喜び |

２　ねらいとする価値について

人生をよりよく生きていくためには、集団の一員として、自らの役割を積極的に果たし、社会に貢献することへの喜びをもつことが大切である。社会に貢献していくための手段の一つが仕事＝「働くこと」である。生活を営むための糧を得るという目的に加え、自らが、仕事を通して社会に参画し、社会的責任を果たしているということを自覚することで、人は喜びや誇りをもって働くことができる。現代社会においては、雇用形態が多様化され、価値観も多様になってきている。教材を通して、「働く」意義や社会の役に立つ喜びを体得し、将来に向けての、勤労観・職業観の育みにつなげたいと考える。

３　子供の姿

　　本学級の児童は、係活動に積極的な児童が多い。係によっては、係活動を充実させるために工夫をしている姿が見られた。多くは、決まっていることだから取り組んでいるという様子も見られる。自分の行動と他者との関わりについて考えている児童は少ないと感じる。

４　教材と指導について

　　本教材は複数の資料から成り立っている。これらの複数の資料を扱うことにより、多面的・多角的に働くことについて考えさせることができる教材である。資料の読み取りだけにならないように、子供たちの係活動などの体験を通して感じたことなど、具体的な事柄を踏まえて話すように促す。

５　地域と連携した学習

本校の児童は、多くの地域の方々の協力を受けている。例えば、ビオトープ委員会という地域の方々の会は、季節ごとに校庭の手入れをしている。また、地域の見守り協力隊の協力もあり安全に登下校することができている。彼らは、お金のためにしているのではなく、子供たちのこと思って行動してくださっている。そういった人々に活動を続けている理由を聞き、その人の思いに触れ、働くことの価値について多面的・多角的な視野をもたせたい。

６　本時の学習

(１)本時のねらい

資料や友達の意見をもとに、働くことについて考え、働くうえで大切にしていきたいことを考える。

(２)本時の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 児童の活動 | 〇伝え合うための工夫  ・その他の手立てや留意点 |
| つかむ（７） | １　身の回りの仕事はどんなものがあるか話し合う。  ２　本時のめあてをつかむ。  仕事をしていくうえで大切なことは何だろう。 | 〇身近に多くの職業があることに気づかせるために、地域にある職業の画像を提示する。  （導入の工夫） |
| 深める（28） | ３　資料１、２を読んで、話し合う。  宇都宮さんと関島さんは、仕事をしていくうえで、どんなことを大切にしているでしょう。    ・おいしいチョコをつくらねばという使命感  ・チョコを味わってもらいたいという夢  ・人々の生命と財産を守ること  ・みんなが知りたいことを、みんなが知っている言葉で伝えるという信条  ・二人とも使命感を大切にしている  ４　資料１、２、３を踏まえて、話し合う。  人は、何のために働くのか。  ・生活に必要なお金を得るため  ・自分の夢をかなえるため  ・達成感や充実感を味わうため  ・自分の楽しさのため  ・人の役に立つため  ・ありがとうって言ってもらうため  ・誰かに喜んでもらうため  ・もっと住みやすい社会にするため | ・仕事内容と、思いや考えの違いに気づくようにするために、似ているところ、違うところを考えるように促す。  ○資料の読み取りや分析に終始しないようにするために、自分の思いを具体的に書いたり話したりするように指示する。  （話し合いを深める工夫）  ○見守り協力隊の浅岡さんを紹介し、なぜ浅岡さんはボランティアで交通指導を行ってくださっているのだろうかという補助発問をする。  （視野を広げるための工夫） |
| 振り返る（５） | ５　振り返りをノートに書く。  ・はじめはお金のためと思っていたけど、友達の話を聞いて、自分も達成感を味わえる仕事をしたいと思った。  ・自分は、誰かの役に立ちたいという気持ちが大きいと思った。 | ○大人になった時に、どんなことを大切にして働きたいか考えて書くように助言する。  （振り返りの視点） |